

平成20年8月26日招集

## 第1回芳賀町地域公共交通会議会議録

平成20年度第1回芳賀町地域公共交通会議会議録									
招集年月日	平成20年8月26日								
招集の場所	芳賀町役場 大会議室								
開閉会日時及び宣告	開 会	平成20年8月26日午後1時30分			臨時議長				
	閉 会	平成20年8月26日午後2時20分			議 長		豊田 征夫		
応(不応)招委員及び出席並びに欠席委員  出席 15名 欠席 1名  ○出席を示す ×欠席を示す	選出区分	氏 名	出席等の別	選出区分	氏 名	出席等の別	選出区分	氏 名	出席等の別
	一般乗合旅客自動車運送事業者	大井 康弘	○	真岡・芳賀地区タクシー協議会	鉢村 敏雄	○	道路管理者、栃木県警察、学識経験者その他の交通会議が必要と認める者	古谷 学	○
		根岸 孝男	○	住民又は利用者代表	小堀 剛	○		金子 好治	○
	一般貸切及び一般乗合旅客自動車運送事業者	酒井 利一	○	関東運輸局栃木運輸支局	小矢島 応行	○		石川 重男	○
		斉藤 弘	○	一般旅客自動車運送事業者の運転手が組織する団体	小野崎 貴志	×		篠崎 泉	○
	(社)栃木県バス協会	太田 満	○					永嶋 公夫	○
	宇都宮タクシー事業者協議会	保坂 和夫	○					大林 幹侑	○
説明のため出席した者の職氏名	企画課長 石崎 享 課長補佐兼企画調整係長 大関 一雄 主任主査 高橋 陽一								
会議に付した事件	別紙のとおり								
会議の経過	別紙のとおり								



事務局	皆様こんにちは。まだお見えになっていない方もおられますが、定刻となりましたので第1回芳賀町地域公共交通会議を始めさせていただきます。はじめに豊田町長から挨拶をいたします。
町長	(挨拶)
事務局	続きまして、委嘱書の交付ですが、申し訳ございませんがお手元に配布させていただきましたので省略させていただきます。続きまして第1回の会議でございますので自己紹介をお願いいたします。
各委員	(自己紹介)
事務局	協議事項に入りたいと思います。設置要綱により議長は町長となっておりますので、進行については町長にお願いいたします。
議長	それでは、協議事項に入りますが、協議事項(1)から(3)までは関連がありますので一括説明にします。(4)については今日一番の懸案事項でありますので(3)が終わりましたら協議します。 事務局で説明をお願いします。
事務局	(協議事項1～3まで資料に基づき説明)
議長	ご質問等ございませんか。 ないようですので(4)ふれあいタクシー「ひばり」運行範囲の変更についてを議題とします。 事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料に基づき説明)
議長	ご意見等ございましたらお願いします。 当初は、清原台全域を考えていましたが、範囲を広げると路線バス業者やタクシー業者などの民間会社を圧迫することが考えられたので医療機関へのピンポイントのみとさせていただきました。
小堀委員	今回は清原地区の医療機関まで運行範囲を変更するということだが、真岡市の芳賀日赤への運行についても多くの要望があると思うがどうなのか。

議長	<p>真岡の日赤までの運行や、北部の人からは高根沢町までの運行を要望されているが、真岡まで行くと往復1時間以上かかり採算が合わなくなったり、民間業者を圧迫することになるので現在は考えておりません。</p> <p>真岡へは別な方法を検討します。</p>
大林委員	<p>ジェイアール様にお伺いしたいのですが、芳賀町内の運行状況をお聞かせ願いたい。</p>
大井委員	<p>経営状況は非常に厳しいがこれ以上減便すると公共交通として成り立たない。</p> <p>栃木運輸支局様も来られていますが、活性化事業という制度があり、これを活用することや他の事業を展開するなど住民のニーズにあった運行をしていきたい。また、清原台から新幹線の最終便に合わせられるよう深夜バスを運行する予定で、これに合わせ、祖母井にも早朝便や深夜便も検討しています。</p> <p>減便については、これ以上は考えづらい。また一気に廃止もない。逆にコースを増やすなど社内で検討しています。</p>
大林委員	<p>今回、ひばりタクシーが清原台まで範囲を広げることによって経営に影響はないのでしょうか。</p>
大井委員	<p>影響はなくはありません。一昔前であれば困るということになっていたが、路線バスは芳賀町全域を網羅している訳でもなく地域交通の活性化などにもつながり、ゆくゆくは主幹路線を走る路線バスにもプラスになると考えてる。</p> <p>若干影響はあると思うが企業努力により違う方法で補っていきたいと思います。</p>
大林委員	<p>同じ質問ですが東野交通様はどのようにお考えですか。</p>
根岸委員	<p>東野交通の場合、芳賀町は通過町であります。宇都宮から益子町まで2系統、真岡市まで1系統あり益子町方面は1日約20本ほど運行しており十分供給していると思います。しかし橋場線については1日9本ですが橋場から真岡までの乗客が少なく何とかしなければいけない状況にあります。今のところ国の補助要綱に適合しており補助金を頂きながら運行しています。</p>
大林委員	<p>宇都宮のタクシー業者が一番大事な部分だと思いますが宇都宮タクシー事業者協議会としてはどのようにお考えなのでしょうか。</p>

保坂委員	<p>最初にこの話をいただいたときには、野高谷や清原に営業所がある業者からは「まずいのではないか」という声があったのは事実です。ただ、目的が町民で高齢者の方の病院への通院に限るといものと、登録された方しか乗車しないので、若干売り上げに影響はあるかもしれないが企業エゴで反対するべきではないでしょうという意見です。</p> <p>もう一つですが、現在は芳賀町がデマンドタクシーを先行して行っていますが、いずれは他の市町でも行うことが予想され、宇都宮市でもデマンドタクシーを始めるといったときに宇都宮を起点に市外にも運行されることも考えられます。</p> <p>今後のタクシー業界のことも考えますと、このような事業に協力的でありたいという意見から、運行範囲についてはこれをお願いしますということになりました。</p>
議長	<p>先ほど東野交通様から状況をお聞きしましたが、橋場までタクシーで来て、そこからバスに乗り換え真岡まで行っていただくなど町でPRしていきたいと思っています。</p>
小矢島委員	<p>先ほどジェイアールバス関東様から話がでましたが昨年、地域交通活性化という法律が制定されて、県内では佐野市と日光市が計画事業と調査事業を行っております。地域の交通は地域で考えましょうということで、コミュニティバスの再編など実証運行についても補助が出る仕組みになっています。</p> <p>今後、芳賀町のデマンドタクシーの中身を変えるなどする場合にも活性化の法律の中身に沿うよう協議会を開き利用者の意見を聞きながら進めるのも一つではないかと考えられます。</p>
古谷委員	<p>昨年度のひばりタクシーの売り上げはどの位あったのでしょうか。</p>
事務局	<p>平成19年度の決算ですが、一般利用者の収入が565万円です。この他にスクールバスで194万円、水泳教室が45万6千円です。</p>
古谷委員	<p>約800万円が収入で経費が約2,060万円ということですが、差額は行政負担なのでしょうか。</p>
事務局	<p>総経費を含めて歳出は2,865万円です。差額は町から補助金です。</p>
古谷委員	<p>福祉タクシーですが、基本料金はいくらなのでしょうか。</p>

事務局	初乗り運賃がタクシー券の料金になります。
保坂委員	宇都宮市と芳賀は初乗り運賃710円です。
古谷委員	利用について町内はひばりタクシーを利用し、宇都宮市や真岡市の病院などに行く人は福祉タクシーを利用するのでしょうか。
事務局	そうです。
議長	その他ご意見はありますか。 なければ、(4)の運行範囲の変更についてご了承いただけるでしょうか。
各委員	(意見なし)
議長	事務局でその他はなにかありますか。
事務局	特にありません。
議長	皆様その他ご意見はありますか。
大林委員	運行はいつ頃から始める予定でしょうか。
事務局	タクシー業者の4条許可申請もありますので、許可がおり次第運行したいと思っております。
小矢島委員	公共交通案件であれば1～2ヵ月位では許可がおります。実際行っていることに変更がないので急ぐことではないかと思えます。
大林委員	平成20年度内に運行したいというお考えでしょうか。
議長	許可次第ですが、平成20年度中にできればと思っております。 以上でよろしいでしょうか。以上で第1回芳賀町地域公共交通会議を終了します。ありがとうございました。